

特集 障がい者にやさしい まちづくり

今号の特集テーマは「障がい者にやさしいまちづくり」です。着る・住む・学ぶ・遊ぶ(スポーツする)・支援するなどのいろいろな視点から、障がいのある人や、障がいのある人を応援している人たちに、それぞれの取り組みを紹介していただきました。

私たちの社会には、数多くの障がい者が生活をしています。障害者手帳を持っている人(平成22年3月31現在)の人数で見ると、全国では身体障がい者が約500万人、知的障がい者が約81万人、精神障がい者が約63万人の合計約644万人で、愛媛県でも合計約9万6千人となっています。この人数に手帳を持っていない障がい者を含めると、さらに多くの人数になります。

これらの方々にとって、住みやすいまちになっているだろうか。これが出発点です。障がい者を取り巻く環境はどうか?法整備や住環境整備の面でどうなのか?

また、障がい者を持つ家族、障がい者施設の職員さらには地域の人たちなどの健常者が障がい者を守るという考え方だけでなく、障がい者と健常者が一緒に生きるという視点が必要ではないのか?

さらには、「障がい者にやさしいまち」とは、すなわち誰にとってもやさしく、住みやすいまちでもあると考えるわけです。

これから県内各地の皆さんの取り組みをご紹介しますが、これらの記事を通じて、読者の皆さんと障がい者の皆さんとの距離が今までより近づくことを期待したいと思います。そして、障がい者を含めた皆さんにとってやさしいまちづくりの一助になれば幸いです。

(研究員 河野 茂樹)

■表紙のことば

車いすでの行動範囲が一昔前と違って広がっている。しかし、車いすに乗ってのおしゃれの楽しみは今一つです。着脱の利便性に頼って、トレーナー、ジャージ、Tシャツといった定番スタイルです。気持ちは健常者。おしゃれに外に飛び出したい。

そこで車いすでのファッションショーが商店街で開催。それはそれはドキドキ楽しく。

早くこの日を待っていたとばかりのショーとなる。これからは皆さんのアイデア待っています。

柳原あやこ



●アングル

新しい社会を創る

～私たちのことを私たち抜きで決めるな～

鈴木 静/愛媛大学法文学部総合政策学科 准教授

1

●特集/障がい者にやさしいまちづくり

まちづくりと障がい者

田所 浩厚/特定非営利活動法人 ネセサリーフォー 理事長(松山市)

4

障がい者の豊かな地域生活の継続を目指して

～『ライフサイクル支援』への挑戦～

米田 順哉/NPO法人 家族支援フォーラム地域生活支援センター夢ポケット 理事長(松山市)

6

心のわ

～自分たちができることをやっていく。大きく広げようこころの輪～

宮崎 憲士/障がい者共働オフィス「心のわ」(四国中央市)

8

高校生が見た「障がい者にやさしい町づくり」とは

山田 穂乃香/愛媛県立三島高等学校 VYS部(四国中央市)

10

障がいのある人達への芸術活動支援を行う

河部 宏子/特定非営利活動法人
アトリエ素心居 理事長(松山市)

12

障がい者が住みやすい街は自分自身も住みやすい……

谷本 圭吾/NPO法人 どんまい 理事(松山市)

14

身近な障害者スポーツの魅力

渡部 和典/愛媛県障害者スポーツ指導者協議会 会長(松山市)

16

●キラリ光るまち

ひととまちづくり ～地域みんなで子育て支援～

小野 志保/バソきっず(新居浜市)

18

●特選ブログ/shin 1さんの日記

一歩前・少し前・もっと前へ

若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長

20

●特別寄稿

型があつての型やぶり

森川 保男/(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター 常務理事
(前)えひめ地域政策研究センター専務理事・所長

22

●“MY TOWN”うおっちゃんぐ

海運業の家、油屋菊池清治家…八幡浜市浜之町

岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・ハリテージマネージャー

24

●TALK NOW

遊びをとおして、まちが元気になる“あそ部”

奥野 佳代/社会福祉法人
宇和島市社会福祉協議会地域福祉係(宇和島市)

26

●Information

えひめ地域政策研究センターからのお知らせ

28